

# 一般質問



炭竈 ふく代 議員  
公明党

## 問 心肺蘇生教育の普及推進を

## 答 来年度、関係機関と調整し実施



▲十四山中学校での生徒を対象としたAED講習会の模様

**問** アンケート調査を実施。調査結果に対する職員向け研修会。職員間の情報共有。地域との連携。

**答** 適応指導支援室（通称アクティブ）に通室している人数の現状は。



▲アクティブの室内（鍋田支所2階）

**問** 不登校の定義と児童生徒数の現状は。

**答** 教育長 年度間に連続・断続で30日以上欠席した者で、病気や経済的理由を除いた者。全体として、小学校17人、中学校41人。

**問** 不登校未然防止対策の取り組みは。

**答** アンケート調査を実施。調査結果に対する職員向け研修会。職員間の情報共有。地域との連携。

**問** 不登校の定義と児童生徒数の現状は。

**答** 教育長 年度間に連続・断続で30日以上欠席した者で、病気や経済的理由を除いた者。全体として、小学校17人、中学校41人。

**問** 不登校未然防止対策の取り組みは。

**答** アンケート調査を実施。調査結果に対する職員向け研修会。職員間の情報共有。地域との連携。

**問** 不登校対策施設整備拡大を

**答** 新たに平島地内で検討

**問** 小中学校のAED設置状況は。

**答** 学校教育課長 各校2台、1台は体育館、もう1台は、職員室や保健室。

**問** 使用事例は。

**答** 2件。

**問** AED教育、危機管理体制など、学校環境構築への考えは。

**答** 職員は、講習会を年1回実施。児童・生徒については、全中学校において教科書でAEDについて学んでいる。また、一部の小中学校で児童・生徒を対象に実施。

**問** 小中学校の心肺蘇生教育における今後の方向性と取り組みは。

**答** 来年度から関係機関と調整を行い、全校で実施する。

**問** 小中合わせて14人。アクティブでの取り組み内容と学校への復帰率は。

**答** 保護者の心理面のケア。状況に即した学習支援。集団生活と協調性の向上。復帰率は43%。

**問** 教員への研修は行っているか。

**答** 各層の研修会で、事例研究などを行っている。

**問** 適応指導支援室事業において、2カ所目設置への計画は。

**答** 市長 現在のアクティブを統合することも合わせ、平島地内で検討。